

オンラインにおける合理的配慮について

—これからの教育はどうなる—

香川大学教育学部

香川大学バリアフリー支援室

教育学部附属坂出小学校 附属幼稚園

坂井 聡

障害とは何？

- 障害？
- 障がい？
- 障碍？
- しょうがい？

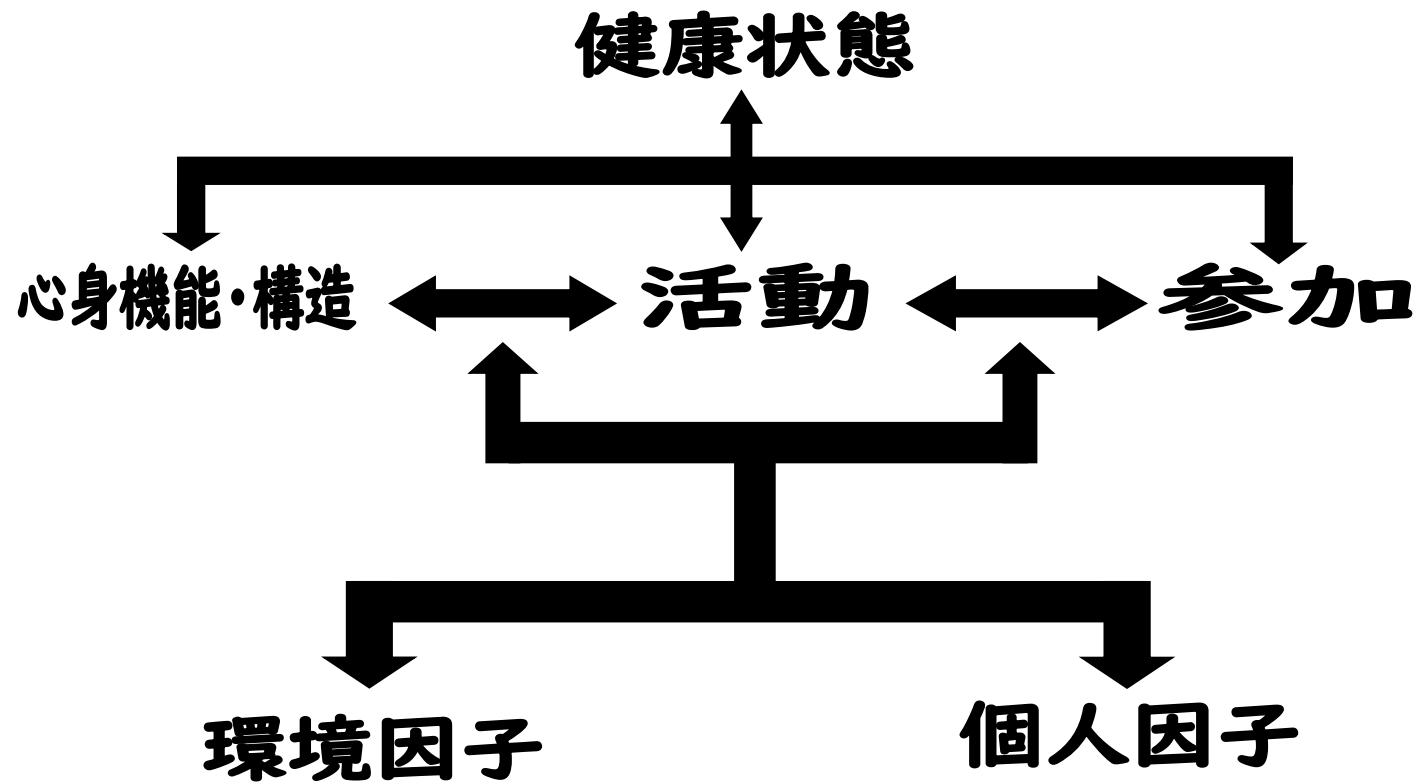
- その他

ICIDHからICFへ

—WHO(世界保健機関)の障害分類—

- 1980年に定められたICIDHでは
 - 機能障害→能力障害→社会的不利 の一方通行の流れ
 - 社会的な環境や物理的な環境の役割を反映していなかった
- 2001年に公表されたICFでは
 - 生活機能と障害は, 心身機能と構造, 個人レベルの活動, 社会への参加の次元を表す包括的用語として用いられる
 - 障害は健康状態と背景因子との相互作用ないしは複雑な関係と考える

ICFの概念図



もう一度確認します

特別なものから誰もがもつ状態としての障害へ
障害を経験したことがありますか？

活動や参加を制限しているものを障害ととらえるようになって
きています

診断という枠を超えてみると支援のアイデアが浮かんでくる

例 視覚障害とTV電話
知的障害とメモ

「合理的配慮」

「障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要とされるもの」

「学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの」

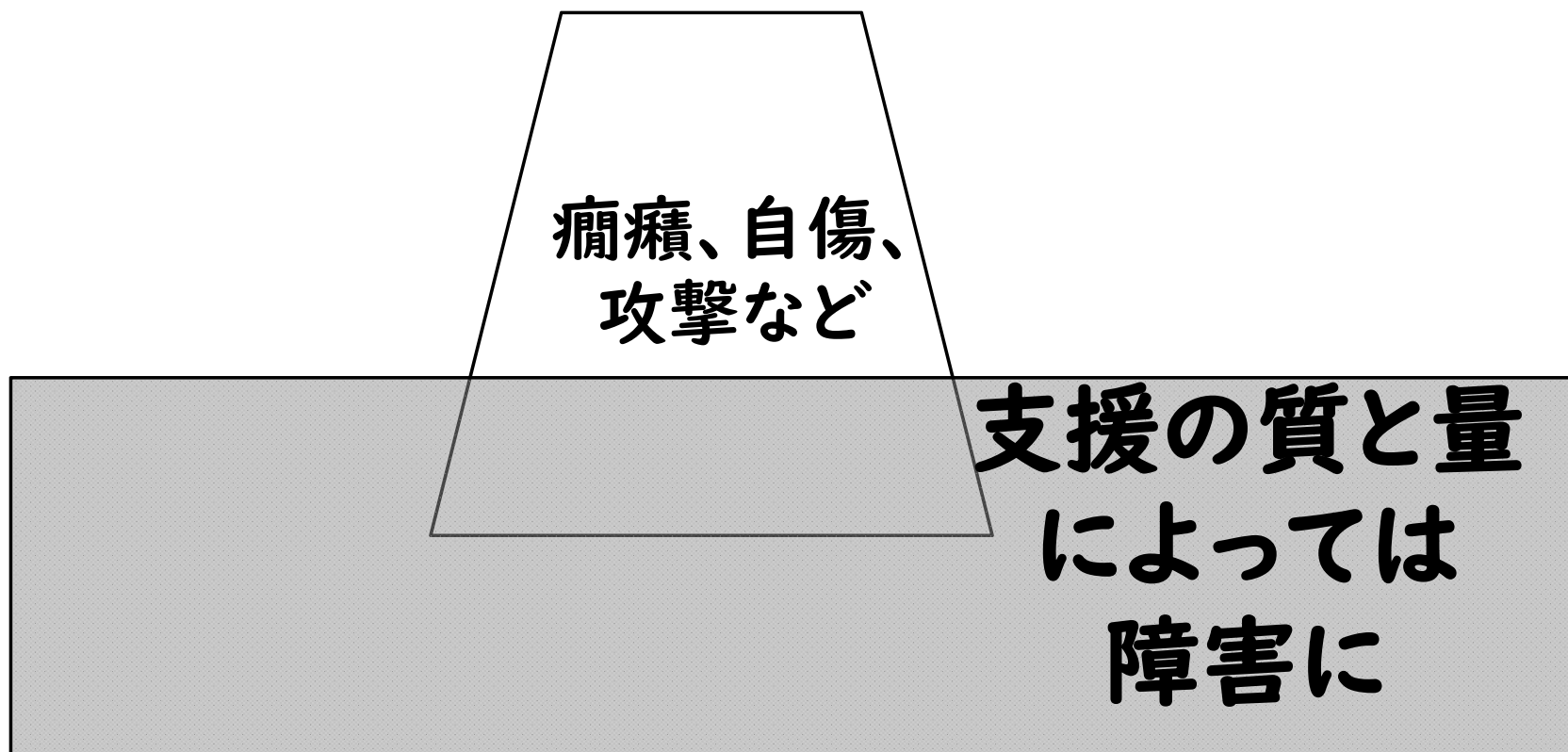
(基礎的環境整備)

なお、障害者の権利に関する条約において、「合理的配慮」の否定は、障害を理由とする差別に含まれるとされていることに留意する必要がある。

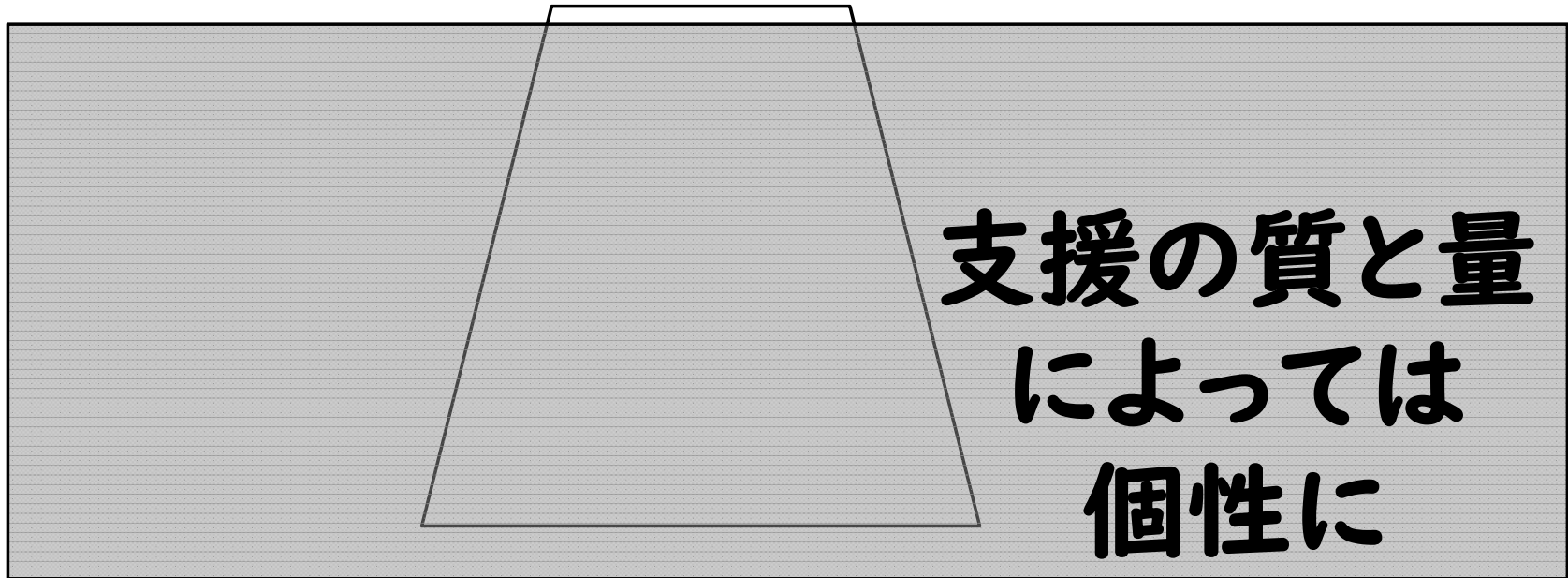
新型コロナウイルス感染症対策のために小学校、中学校、高等学校等において臨時休業を行う場合の学習の保障等について(通知)

- 児童生徒に家庭学習を課す際や学習状況の把握を行う際には、ICTを最大限活用して遠隔で対応することが極めて効果的である
- 今回が緊急時であることにも鑑みると、学校設置者や各学校の平常時における一律の各種ICT活用ルールにとらわれることなく、家庭環境やセキュリティに留意しながらも、まずは家庭のパソコンやタブレット、スマートフォン等の活用、学校の端末の持ち帰りなど、ICT環境の積極的な活用に向け、あらゆる工夫をすること

新冰山モデル(門)



新氷山モデル(門)



何に困るだろうか？

- 児童・生徒によっては、授業に参加するうえで困っていることがある
 - 伝えられたことが理解できなくて
 - 伝えられたことを記憶しておくことで
 - 周囲の状況から判断することに
 - 周囲の情報を取捨選択することに
 - 適切な表現方法で伝えることに

苦手なことを解決できる

- メモができない
- きれいに書けない
- 憶えられない
- 字を思い出すことができない
- 動画だと理解できる
- スケジュールの管理もできる
- オンラインだと参加ができる

技術が必要なのです

- やる気や愛情ですか？それとも技術ですか？
- 技術をもつことはとても大切です
- やる気や愛情だけでは変えることができないことがある
- やる気と愛情とそして技術をもつこと
- 本質は何かを考えること
- みんな違って大変だから工夫するために

引き出される力を考えてみる

- 自分だけの力で生きているかというところではない
- 支援によって引き出される力
- 周囲の理解によって引き出される力

診断があってもできること

- 何ができないのという視点
- 何ができるのかという視点
- できることで変わることもあるのでは
- 環境を整え活動を見直すことで・・・

具体的にどうする

- 合理的な配慮は公平か？
- あの子だけずるいと言われないように

無気力は学習の成果

- 学習性の無力感
 - 自分から動かない方が無駄なエネルギーがいらないと学習
 - 環境への適応の結果
 - 汎化しやすい
- 生まれつき無気力な子どもはいない
 - 意欲はどこへ行ったのか？
- 相対的な評価をすると
 - 本来の位置は変わらない
 - 他人以上にすることによって評価される仕組みになるということ

意欲が出る環境は

- 行動の結果がポジティブに反映される環境
 - できるかなモデル
 - 失敗で終わる環境では意欲はわからない
- 確率は同じでも
 - 自分でやった方が当たる確率が高くなる？
 - 自分でやる方が意欲的になる
 - 錯覚や幻想があれば意欲につながる
- できるようになるという考えの末路
 - 努力してもできないと
 - 自己肯定感の低下
 - 「がんばれ」といわれてももう無理
 - 自分のことを客観的に知ってしまうと無気力になる

視点を換えなきゃ

- その子はどう考えているのだろうか？
 - 技術をもてば見えるかも
- その子が何を苦手としていて、何に困っているのかを考える
 - 本質を見ているか
- 私が変わることから
 - その子を理解しているか
- 集団から個別へ

生まれてきてよかったといえる社会に

- 障害についてもう一度考える
- 教育が夢や希望を与えられるか
- 環境が障害を作り出していることに気づく